

# 2022年度通常総会報告

2022年4月25日、昭和木材（株）2階会議室において、出席および書面による議決権行使を合わせ115名の参加をいただいて2022年度通常総会を開催しました。総会では、2021年度事業報告、決算書類及び財産目録、会費の額、役員の報酬額、2022年度事業計画及び収支予算等について審議し、いずれも承認されました。

書面意見として、ウッディエイジの見やすさ、内容、発行方法等に対する改善提案をいただきました。いただいた意見を含め、より充実した誌面作りに取り組むことといたします。

## ■2021年度事業報告について

### 1 会員の動向

2021年4月当初145名、入会1名、退会3名により2022年3月末現在で143名となった。

### 2 諸会議の開催

第1回理事会を2021年4月7日～4月12日に書面開催し、第2回理事会を2021年4月26日、第3回理事会を2022年3月2日、2021年度通常総会を2021年4月26日にそれぞれ開催した。

### 3 普及事業

#### (1) 林産技術普及事業

##### ア 木材利用に関する相談事業の実施

①道産材の利用に関する相談に応えるとともに、研究機関や取扱事業体を紹介した。

##### イ 講演会等の開催

①総会記念講演会を実施した。

開催日時：2021年4月26日

演題：中高層建築物で木材を使うー木のイノベーションで森とまちの未来をつくるー

講師：小林 道和氏（(株)竹中工務店 営業・プロモーショングループ部長）

参加者：108名

②北海道立北の森づくり専門学院（北森カレッジ）の見学会を実施した。

開催日時：2021年8月24日

参加者：13名

③Web版「木になるフェスティバル（主催：道総研林産試験場）」に協力した。

開催期間：7月19日～8月31日

④「森を知る、木に親しむ」会を開催した。

開催日時：2021年12月25日

場所：当麻町木育推進拠点施設「くるみなの木遊館」

参加者：小学生以下のお子さん約40名、父母等を合わせ約90名

⑤木材加工技術賞受賞者講演・企画講演を開催した（(公社)日本木材加工技術協会北海道支部との共催）。

開催日時：2021年9月29日

場所：オンライン

企画講演題名：都市木造が描く国産材への期待と課題

##### ウ 会誌・図書の発行事業

①812～823号の「ウッディエイジ（木材の研究と普及）」を発行した。

②展示クラフトの紹介パンフレットを作成し、来館者に配布した。

#### エ ホームページの活用

- ①ホームページでイベントや講習会開催等の情報提供を行った。
- ②1984年1月号以降のウッディエイジ全記事をホームページで公開した。
- ③会員企業名簿のホームページ掲載を進めた。

#### (2) その他事業

##### ア 展示品維持管理事業

展示品維持管理業務を道総研から受託した。

##### イ きのこ栽培試験管理事業

きのこ栽培試験管理業務を道総研から受託した。

##### ウ 講習物販等事業

- ①木材接着講習会を実施した（(公社)日本木材加工技術協会北海道支部との共催）。

開催日時：2021年11月4日～5日

開催場所：林産試験場講堂

受講者：5名

- ③「上川地域水平連携協議会」事務局として活動した。

「顔の見える木材での快適空間づくり事業」に「高断熱建築物の遮熱性を活かす木材張り外壁の普及と常設展示施設による情報発信」を応募し、採択され、事業を実施した。事業で作成した「防火木外壁技術資料」を会員に配布した。

- ④会員企業支援事業：林産試験場での依頼試験等を実施した会員に、所用経費の1/2を助成した。

## ■2021年度正味財産増減計算

収入の部		支出の部	
会費収入	2,579,182	事業費	18,587,439
林産技術普及事業収入	1,057,931	管理費	1,077,989
受託事業収入	17,966,300	次期繰越金	22,478,349
講習物販等事業収入	20,314		
受取民間助成金	170,000		
雑収入	17,587		
前期繰越金	20,332,463		
計	42,143,777	計	42,143,777

## ■2022年度事業計画

### 1 林産技術普及事業 [実施事業等会計]

- (1) 「木と暮らしの情報館」来館者および電話等による林産技術や木製品に関する質問、問合せに対し、簡易な説明と林産試験場、木材企業の紹介等を行う。
- (2) 林産試験場との共催で、木になるフェスティバルを開催する。中止の場合には、代替事業を実施する。
- (3) 森林・建築セミナー（北海道森林建築セミナー実行委員会）を後援する。
- (4) 一般市民に対し、木材利用の促進を図る普及活動を実施する。
- (5) 会誌「ウッディエイジ(木材の研究と普及)」を月刊発行(824～835号)する。

- (6) ウッディエイジ記事をホームページで公開する。
- (7) 公設試験研究機関，大学，木材加工企業等に対し，会誌及び木材乾燥，木材加工等の技術資料提供に努める。
- (8) 木と暮らしの情報館に展示しているクラフトの紹介パンフレット(2022年度版)を作成し，来館者に配布する。
- (9) トドマツ等地域材の有効利用拡大を目的とした「上川地域水平連携協議会」の活動を支援する。
- (10) 当協会は2023年に設立70周年を迎えることから，2023年度における記念事業等の実施について検討する。
- 2 展示品維持管理事業[その他事業]  
林産試験場木と暮らしの情報館に係る「展示品維持管理業務」の受託に努める。
- 3 きのこ栽培試験管理事業[その他事業]  
林産試験場に係る「きのこ栽培試験管理業務」の受託に努める。
- 4 講習物販等事業[その他事業]  
(1) 講演会，講習会を開催するする。  
(2) 会員企業が林産試験場へ依頼試験等を行う場合に，費用の一部を助成する。

## ■2022年度収支予算

収入の部		支出の部	
会費収入	2,660,000	事業費	19,654,000
林産技術普及事業収入	200,000	管理費	1,270,000
受託事業収入	17,989,400	次期繰越金	22,775,249
講習物販等事業収入	200,000		
受取民間助成金	170,000		
雑収入	1,500		
前期繰越金	22,478,349		
計	43,699,249	計	43,699,249